



ぽっかぽか ぞう組

7月から始まったプール遊び！はじめての大きなプールにドキドキ！わくわく！胸を弾ませていたぞう組のみんな。少し慎重になる様子も見られましたが回数を重ねることで勇気を出して顔を水に付けることに挑戦してみたり、水中のフラフープをくぐってみたりと全身で水遊びを楽しんでいました。



ちぎり絵

今年の夏も暑い日が続きましたね。天気が良くても暑さ指数の関係で外に出られず室内遊びの日が続いていたので、ちぎり絵の制作をしました！夏ということでテーマはアイス！自分たちで「何味のアイスがいいかな～？」と画用紙の色を選んでちぎることに挑戦してみました。ちぎり絵は指先をたくさん動かして使います。紙を小さくちぎってのりを貼るという動きは大人にとっては簡単でも、子どもにとってはとても集中力がが必要な作業です。指先が上手に動かせるようになると、ボタンを留めるといった指先での細かい作業ができるようになったり、食具の操作が上手になるなどの成長にも繋がります。細かくちぎることができたら次はのり付け！のりは前に使ったときのことを思い出して糊の量を調節しながら貼り付けました！可愛くて美味しそうなアイスができあがりました♪

おあつまりの時間を使って完成したアイスをみんなに見せて、何味のアイスにしたのか発表もしてみました！みんなの前での発表は少しドキドキしたけど、友達に聞いてもらえて嬉しそうな表情も見られました

時間の意識



ぞう組では少しずつ時間を意識できるように時計の数字と長い針を使って活動の終わり時間などを伝えていきます。「長い針が12になったら片付けようね」や「長い針が8になったらごちそうさまをするよ」などと繰り返し伝えることで、子どもたちの方から「長い針どこまでー？」と質問されることも増えてきて時間の意識が芽生え始めているんだなあと感じます。

時間の意識ができるということは言い換えてみれば見通しをもって行動ができるということです。ぞう組では片付けの時間を伝えると、時計を意識して早めに片づけをしたり次の活動の準備ができる子も増えてきました。さらに時間に気付いた子が周りの友達にも声をかけて知らせてあげる姿も見られるようになりました！場面の切り替えがスムーズになると大人も子どもも気持ちよく過ごせますよね。もちろん場面の切り替えが難しかったり時間がかかることもまだあります。そんな時には一緒にどこまでやったら終わりにするのか折り合いをつけられるように一緒に考えたり、待っている友達の気持ちにも気付けるように声を掛けています。またおあつまりでは毎日日付の確認をして数字を見たり読んだりする機会を設けています。ぜひご家庭でも会話の中に時間を取り入れたり、次は何をするんだっけ？と考えて行動できるような言葉かけをしてみてください！子ども達の成長を感じられると思います♪